

(別添)

2019年4月25日

N I T E (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

製品安全センター大阪本部

News Release

屋内の事故から子どもを守る ～環境と物選びでもっと安全に～ -近畿2府4県における事故の防止-

1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、屋内での子ども (6歳以下) の事故は、近畿地方2府4県 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) では、2013年度から2017年度までの5年間に合計27件ありました。

(1) 製品別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生件数^{※2} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2013年度	1 [0]	1 [0]	2 [1]	2 [1]	1 [0]		7 [2]
	2014年度		1 [0]	6 [0]				7 [0]
	2015年度				1 [1]			1 [1]
	2016年度			5 [1]	4 [0]			9 [1]
	2017年度			2 [0]	1 [0]			3 [0]
合計	事故件数	1	2	15	8	1	0	27
	火災件数	[0]	[0]	[2]	[2]	[0]	[0]	[4]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。 [] は火災件数。

(2) 被害状況

表2に「府県別 被害状況」を示します。

表2 府県別 被害状況^{※3} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	死亡			2 (2) [1]				2 (2) [1]
	重傷			3 (3) [0]	2 (2) [0]			5 (5) [0]
	軽傷	1 (1) [0]	1 (1) [0]	5 (5) [1]	5 (6) [2]			12 (13) [3]
物的被害	拡大被害			1 [0]				1 (0) [0]
	製品破損		1 [0]	3 [0]	1 [0]	1 [0]		6 (0) [0]
被害なし				1				1 (0) [0]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	1 (1) [0]	2 (1) [0]	15 (10) [2]	8 (8) [2]	1 (0) [0]	0 (0) [0]	27 (20) [4]

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

2. 事故事例の概要

(1) ドラム式洗濯乾燥機への閉じ込め

2018年1月（大阪府、5歳、死亡）

【事故の内容】

子どもがドラム式の洗濯乾燥機の中で死亡していた。

【事故の原因】

チャイルドロックの設定をしていなかったため、子どもから目を離した際に、幼児がドラム内に入ってドアが閉じてしまい、これに気付くのが遅れて窒息したものと考えられる。なお、本体及び取扱説明書には、「子どもをドラムの中に入らせない。ドラム内に閉じ込められて窒息、やけど、感電、けが、おぼれるおそれがある」旨、記載されていた。

(2) ウォーターサーバーでやけど

2014年11月（大阪府、1歳、重傷）

【事故の内容】

子どもがウォーターサーバーに触れていたところ、やけどを負った。

【事故の原因】

当該製品は、ボタンを押しながらキャップ（上ぶた）が連結しているレバーをコップで押し込んで温水を取水する製品であるが、子どもが目を離した隙にレバーを通常操作しない上方向に引き上げたためにキャップが外れ、噴き出したお湯が子どもの身体にかかったものと考えられる。

3. 子どもの事故の映像について

子どもの事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

リスク評価広報課 課長 柿原 敬子

担当者： リスク評価広報課 向井

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617